



2016.09.03 外国人受け入れに関する地域意見交換会 in 兵庫<豊岡市>

未来を創る財団主催、兵庫県豊岡市後援、イニシアチブ **Nippon** プロジェクト第4回地域意見交換会が9月3日（土）午後、豊岡市城崎庁舎会議場で開催された。

地域の事業者、団体、学校、日本語 NPO その他外国人問題に関心の高い方がた、事業に従事する外国人など、主催者、共催者あわせて総勢 28 名あまりの意見交換会となり、熱心な討議が行われた。兵庫県豊岡市は“コウノトリ”の棲息で名高い自然環境重視の都市。

國松孝次未来を創る財団会長は、日本では場当たりの、なし崩し的に外国人受け入れが行われ、方向性が定まっていない。それではよくないので、現在、日本各地を回って地域の実情をお伺いしている。11月に東京ラウンドを開くので、こうした地域の意見を踏まえて、一步でも議論を前に進めていきたい、と意見交換会の趣旨を説明。



中貝市長は挨拶で、豊岡のような大都会から離れた地域でも、外国人の方との接点が増えて



てきている。今はまだ観光だけであるが、今後は日本で定住する人も増え、地域や組織の構成員となっていく。そうなったときどのように付き合っていくか。

さらに、外国の人々のコミュニティ、活躍する場をどのように提供できるか考えていきたい。外国人の子どもは、日本人の子どもと同様にまちの資源である。そのことを認識して、彼らが活躍できるようにしたいと述べた。

日本語教育を核として、在住外国人にさまざまな支援を行っている勝間良枝氏は、移民政策というが、豊岡市のような地域においてすでにもたくさんの外国人、外国にルーツを持つ人々が暮らしている。その中で、まずは日本語という問題が第一にあると指摘した。



休日の中ご出席くださった兵庫県他参加者の皆さまの真摯なご協力に感謝申し上げます。また、豊岡市環境経済部大交流課各位のご尽力に深謝申し上げます。